



咲かせよう、この満天の星空に。

2025年9月6日 だんパラ公園

室蘭満天花火2025（9月6日、室蘭市だんパラ公園）の開催まで3カ月となった。当日は日本最大級の3万発超の花火を打ち上げる。打ち上げは、道内外8社が協力を結成。各社趣向を凝らした演出で大輪の花を咲かせる。TAIRIN代表取締役CEOの鳴海正之氏に見どころなどを聞いた。

（聞き手／室蘭民報社・報道部長石川昌希）



室蘭では港で花火を見るイメージ。山で見る花火の印象はどうか。

「海での開催は、比較的どこでも見られることから、交通渋滞が発生しやすい状況にある。今回は有料で開催するので、会場の外から見えてしまつては意味がない。山の中で開催することで、周囲からの目を遮断することができる。逆に言うと、会場に行かないと打

ち上げ花火を見られないことから、プレミア感が増す。恐らく、遠くの海岸線からしか見られないだろう。看板を用いて会場に行かないと花火を見られないことをSNSなどを通して発信していく必要がある」



山中ならではの特色は出るか。

「森林の山から音がこだまする。打ち上げた後に音が木に跳ね返って聞こえることもある。洞爺湖の花火大会でも打ち上げ後、宿泊施設の壁に当たってこだますることもある。山の緑に囲まれることで、マイナスイオンをいっぱい体に浴び、リラックスした状態で花火を楽しめることもポイント。好天に恵まれることを願っている」



室蘭満天花火のように、山中での打ち上げ経験は。

「小樽天狗山やニセコでも打ち上げているが、ただの一度のぼやも発生していない。夜露が降りることと地面がぬれることも、山中で安全に打ち上げられる特徴にあるだろう」

あつぱれ

むろらん



株式会社TAIRIN
代表取締役 CEO
鳴海正之

（なるみ・まさゆき）

18歳で花火業界入り。複数の会社を経験して45歳で独立。花火演出を手がけるTAIRIN、北海煙火の両社の代表取締役。余市町出身。62歳。



8社での打ち上げイメージは。

「各社で花火を持参して、曲調に合わせた花火を打ち上げる。出演するアーティストへのリスペクトとして、楽曲のリミックスバージョンも考えている」



花火の見どころを。

「3万発を打ち上げるので、大小さまざまな花火を用意する。花火単独の点ではなく、夜空全体の面で見てもらいたい。いつでも空に華やかな色合いが広がっているイメージ。煙がこもったときだけMCが入り、どんどん打ち上げるスタイル。8社によって花火の特徴は異なるので、違いも楽しんでもらいたい」

【花火打ち上げ協力会】

UPbeat HANABI・齊木煙火本店・TAIRIN・響屋大曲煙火・北海煙火・丸玉屋小勝煙火店・マルゴー・山崎煙火製造所（五十音順）

開催まで
あと3カ月



最新情報は
公式ホームページへ!!
manten-hanabi.com



満点(天)の笑顔

第九回

株式会社 北海道共立
舞台・テレビ放送事業部
舞台課 照明担当
星野 拳さん

【取材】室蘭民報社 石川昌希

「地元室蘭に感動照らす」

3万発の打ち上げ花火の満足度を補完する重要なエッセンス。それが照明の役割。

高校卒業まで暮らしていた室蘭。札幌に住み始めて16年。

仕事では数年に一度しか故郷に行けなかった。

いつからか、地元に貢献したい気持ちが強くなった。そんな中、舞い込んだ満天花火。

照明人生の中でも最大のビッグイベントを地元室蘭で担当できるという運命を感じる。

何年たっても室蘭に大事に思う気持ちに変わりはない。

観客に感動を届けるとともに、最後は自分自身も満天の笑顔になれるように。

約2000台の照明を音源に合わせて事前にプログラミングし、音や花火に合わせてさまざまなシーンを再生する。

さあ、ドーンというよ。

